

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
3 21 (土)		10:30-12:30 2h00 市文 そのみにて光輝く			13:00-16:16 3h16 0.5 ミリ				17:00-18:53 1h53 百円の恋		19:30-21:30 2h00 2つ目の窓		
22 (日)		10:30-13:21 2h51 市文 野のなななのか					15:00- オープニングセレモニー&授賞式						
23 (月)		10:30-12:23 1h53 シネマテーク 旅人は夢を奏でる			13:00-14:34 1h34 ダブリンの時計職人		15:00-16:30 1h30 複製された男		17:00-18:58 1h58 NO		19:30-20:55 1h25 コーヒーをめぐる冒険		
24 (火)		10:30-12:25 1h55 シネマテーク 闇のあとの光			13:00-14:40 1h40 やさしい人		15:30-18:29 2h59 アデル、ブルーは熱い色				19:00-20:53 1h53 旅人は夢を奏でる		
25 (水)		10:30-12:04 1h34 シネマテーク ダブリンの時計職人		12:30-14:00 1h30 複製された男		14:30-16:28 1h58 NO			17:00-18:25 1h25 コーヒーをめぐる冒険		19:00-20:55 1h55 闇のあとの光		
26 (木)			シネマテーク		13:00-14:31 1h31 ぼんとリンちゃん		15:00-16:26 1h26 はなればなれに		17:00-18:40 1h40 やさしい人		19:00-21:59 2h59 アデル、ブルーは熱い色		
27 (金)		10:30-13:04 2h34 シネマテーク SHOAHO ショア 第1部				14:00-16:00 2h00 SHOAHO ショア 第2部			16:40-20:08 3h28 不正義の果て				
28 (土)		10:30-12:40 2h10 市文 あなたがいてこそ				14:00-15:47 1h47 移動映画館			17:00-19:12 2h12 愛するがゆえに				
		10:00-12:26 2h26 シネマテーク SHOAHO ショア 第3部			13:00-15:27 2h27 SHOAHO ショア 第4部			16:00-17:38 1h38 ソビブル, 1943年10月14日午後4時	18:10-19:36 1h26 はなればなれに		20:00-21:31 1h31 ぼんとリンちゃん		
29 (日)		10:00-11:15 1h15 市文 ムーミン		12:20-13:41 1h21 茜色クラリネット		14:20-16:17 1h57 リルウの冒険			17:00-18:26 1h26 夢は牛のお医者さん		19:00-20:15 1h15 ムーミン		
		10:00-13:38 3h38 シネマテーク 不正義の果て				14:00-15:38 1h38 ソビブル, 1943年10月14日午後4時		16:10-17:53 1h43 借金	18:30-20:30 2h00 罪物語				
30 (月)						シネマテーク	14:30-16:28 1h58 コルチャック先生		17:00-18:36 1h36 縛り首の縄		19:00-20:39 1h39 裏面		
31 (火)						シネマテーク	14:30-16:15 1h45 愛する		16:40-18:25 1h45 夜の第三部分		19:00-20:20 1h20 イータ		
4 1 (水)				シネマテーク	13:00-14:18 1h18 結晶の構造		14:40-16:22 1h42 沈黙		17:00-18:20 1h20 イータ		19:00-20:58 1h58 コルチャック先生		
2 (木)										ギャラリーコアホール	19:00-21:25 2h25 FORMA		
3 (金)										ギャラリーコアホール	19:00-21:24 2h24 黒四角		
4 (土)		10:30-12:03 1h33 電気館 紅葉狩(0h04)+地獄門(1h29)				14:00-15:47 1h47 新・平家物語		16:30-18:14 1h44 和製喧嘩友達(0h14)+緑はるかに(1h30)					
		11:00-12:44 1h44 ギャラリーコアホール 太秦ライムライト			13:30-15:39 2h09 水の声を聞く		16:30-18:55 2h25 FORMA						
		10:30-12:14 1h44 電気館 大きくなるよ(0h03)/茶目子のお早よう(1h34)			13:30-14:15 0h45 スクリーントーク	14:30-16:39 2h09 秋日和		17:00-18:45 1h45 幸福					
5 (日)		10:00-11:28 1h28 ギャラリーコアホール そして泥船はゆく		12:00-13:43 1h43 捨て看板娘/彦とベガ		14:20-15:50 1h30 トークイベント		16:20-18:20 2h00 ストロボライト					

共通諸注意

- 開場は上映15分前を予定しております。各回入替制です。
- 都合によりやむを得ず、スケジュールを一部変更する場合がございますのでご了承ください。
- 混雑状況により受付にて入場整理券をお配りしたり、当日券の販売を終了することがあります。
- 満席の際および上映開始後は入場をお断りする場合がございますのでご了承ください。
- チケットご購入後の払い戻しはいたしません。

参加無料

3月29日(日) バックステージツアー

イベント情報.1

普段は足を踏み入れることのないホールの裏側までをめぐるバックステージツアーを開催します。舞台袖、音響室、映写室等を周り、機材や機械の仕組みなども知ることができます。ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。

- 開催日 3月29日(日)
- 集合時間 11時15分 大ホールロビー
11時30分 ツアースタート所要時間約30分
- 参加方法 事前の申し込みが必要です。
- 申し込み方法 高崎市文化会館(027-325-0681)まで
- 申し込み期間 3月17日(火)~3月27日(金)
- 参加資格 小学生以上
- 定員 20名(定員になり次第締め切り)
- 主催:(公財)高崎市文化スポーツ振興財団(高崎市文化会館)
- 協力:シネマテークたかさき/高崎映画祭

入場無料

4月4日(土) 蘇ったフィルムたちスクリーントーク

イベント情報.2

映画フィルムの網羅的な収集を基本とするフィルムセンターでは、芸術性に優れた作品や、映画史上で重要な作品を収集、修復、管理をしています。映画上映環境がデジタル化されていくことで、滅失するフィルムが今後増えていくことになり、さらなる修復・保存が期待されます。今回高崎電気館で上映する「蘇ったフィルムたち」の上映素材はすべて新しく復元された35ミリフィルムです。その修復方法や、保存・管理の実態、35ミリフィルムの今後についてフィルムセンター主任研究員のとちぎあきら氏にレクチャーしていただきます。

- 開催日 4月4日(土) 13時30分~14時15分
- 会場 高崎電気館(高崎市柳川町31)
- 登壇者:とちぎあきら氏
- *事前申し込みは必要ありません。当日会場へお越しください。

入場無料

4月5日(日) 《トークイベント》日本映画のいまと未来

イベント情報.3

2014年の劇場公開本数は邦画・洋画合わせて1100本を超える数字となりました。10年前の数字と比べると2倍以上の公開本数です。たくさんの映画の出現は嬉しいものの、正直なところこれは、「見切れないほどの本数」であることも間違いありません。邦画に至っては600本を越えています。そして映画はフィルムからデジタルへと変わり、観る環境も感覚も変わってきています。出来た映画が人目に触れる方法論も劇場公開のみならず、さまざまに開かれてきました。観たい映画が観たい人の元へ確実に届くようになったのでしょうか?そして、それは誰かにとっての珠玉の映画体験が生み出されることに比例するのでしょうか?そうは違いない!とは、なんだか強く言えない気がしています。さて、日本における「映画」は、今どうなっているのでしょうか。そして「映画」は今後どうなっていくのでしょうか。これからの日本映画界を支えるであろう若き作り手と、映画をさまざまな形で支える人たちと、日本の「映画」を語ってみたいと思います。

- 開催日 4月5日(日) 14時20分~15時50分 (開場15分前)
- 会場 高崎シティギャラリーコアホール(高崎市高松町35-1)
- コーディネーター:高崎映画祭 総合ディレクター 志尾睦子
- 登壇者:新進監督たち(予定) 他 *事前申し込みは必要ありません。当日会場へお越しください。

【2014邦画セレクション】

受賞作品6作品は、どれも映画のエネルギーみなぎる力作揃い。『野のなななのか』はある家長の死をめぐる輪廻転生の物語。戦争の痛みを伝え、その上で未来への道筋を指し示す力強い一作。『そのみにて光輝く』は痛みを抱えた男と女の、魂の邂逅を描いた物語。狂おしく求める愛の存在に心揺さぶられる。『百円の恋』は、時価百円の女・一子の恋と闘いの物語。躍動感みなぎる爽快な一作。『0.5ミリ』は介護ヘルパー・山岸サワと、おじいちゃんたちとのひと騒動を軸に、人生のおかしみと哀しみを芳醇に描きだす。『水の声を聞く』は新興宗教の教祖に祭り上げられた若い女性・ミンジョンが祈りの真に触れ、自己を見出していく姿を捉える。閉塞した日本社会の今が見える一作。『2つ目の窓』は奄美大島の大自然を背景に、16歳の界人と杏子の恋と成長を描く。はかなくも尊い青春のひと夏が眩しい一作。

【2014洋画セレクション】

洋画は全8作品。2014年に劇場公開された洋画は約550本。そこから8本をセレクトしました。2013年のカンヌ国際映画祭でパルムドールを受賞した『アデル、ブルーは熱い色』は少女同士の狂おしい恋愛を描き、官能的シーンの描写が話題となりましたが、愛の深さと儚さ両面を鋭く切り取った傑作。メキシコの新鋭が描く『闇のあとの光』は、スピリチュアルな映像世界に引き込まれる一作。ラテンアメリカの魔術的な世界観で、日常から異常への変容を描きます。多彩な才能を集めたセレクションにご期待ください。



そのみにて光輝く 野のなななのか 百円の恋 旅人は夢を奏でる やさしい人 コーヒーをめぐる冒険 黒四角 太秦ライムライト ストロボライト はなればなれに

上映日 【2014邦画セレクション】

- 3/21 そのみにて光輝く [R15+] ●2014年 2h00 日本 監督:呉美保 出演:綾野剛/池脇千鶴/菅田将暉/高橋和也
3/22 野のなななのか ●2014年 2h51 日本 監督:大林宣彦 出演:品川徹/常盤貴子
3/21 2つ目の窓 [R15+] ●2014年 2h00 日本=フランス=スペイン 監督:河瀬直美 出演:村上虹郎/吉永淳
4/4 水の声を聞く ●2014年 2h09 日本 監督:山本政志 出演:玄里
3/21 0.5ミリ ●2013年 3h16 日本 監督:安藤桃子 出演:安藤サクラ
3/21 百円の恋 [R15+] ●2014年 1h53 日本 監督:武正晴 出演:安藤サクラ

上映日 【2014洋画セレクション】

- 3/23-25 コーヒーをめぐる冒険 ●2012年 1h25 ドイツ 監督:ヤン・オーレ・ゲルスター 出演:トム・シリング
3/23-24 旅人は夢を奏でる ●2012年 1h53 フィンランド 監督:ミカ・カウリスマキ 出演:ヴェサ・マッティ・ロイリ
3/23-25 ダブリンの時計職人 ●2010年 1h34 アイルランド=フィンランド 監督:ダラ・バーン 出演:コルム・ミーニイ
3/24-26 アデル、ブルーは熱い色 [R18+] ●2013年 2h59 フランス 監督:アブデラティフ・ケシシュ 出演:レア・セドゥ
3/24-25 闇のあとの光 [R15+] ●2012年 1h55 メキシコ=フランス=ドイツ=オランダ 監督:カルロス・レイガダス 出演:アドルフ・ヘメネス・カストロ
3/23-25 複製された男 [R15+] ●2013年 1h30 カナダ=スペイン 監督:ドゥニ・ヴィルヌーヴ 出演:ジェイク・ギレンホール
3/23-25 NO ●2012年 1h58 チリ=アメリカ=メキシコ 監督:パブロ・ラライン 出演:ガエル・ガルシア・ベルナル
3/24-26 やさしい人 ●2013年 1h40 フランス 監督:ギヨーム・ブラック 出演:ヴァンサン・マケーニュ

上映日 【2014年特に注目したい厳選の3作品】

- 4/3 黒四角 ●2012年 2h24 日本=中国 監督:奥原浩志 出演:中泉英雄
4/2・4 FORMA ●2013年 2h25 監督:坂本あゆみ 出演:松岡恵望子
4/4 太秦ライムライト ●2013年 日本=アメリカ 1h44 監督:落合賢 出演:福本清三

上映日 【2014新進監督たち】

- 3/26-28 はなればなれに ●2012年 1h26 日本 監督:下手大輔 出演:城戸愛莉
3/26-28 ぼんとリンちゃん ●2014年 1h31 日本 監督:小林啓一 出演:佐倉絵麻
4/5 そして泥船はゆく ●2013年 1h28 日本 監督:渡辺紘文 出演:渡川清彦
4/5 ストロボライト ●2013年 2h00 日本 監督:片元亮 出演:福地教光
4/5 捨て看板娘 (0h39) / 彦とベガ (1h04) ●2014年 1h43 日本 監督:川合元(捨て看板娘) / 谷口未央(彦とベガ) 出演:山林真紀(捨て看板娘) / 川津祐介(彦とベガ)



クロード・ランズマン監督特集／ポーランド映画祭

【クロード・ランズマン監督特集】

今年が目玉といえるのがこの企画。フランスのドキュメンタリー作家、クロード・ランズマンの代表作3作を上映。伝説の一作、9時間27分の『SHOAH』を4部構成で上映します。第二次大戦中のホロコーストの実態をインタビューで拾い上げたものですが、被害者であるユダヤ人生還者や、元ナチス親衛隊員、そしてアウシュビッツ強制収容所があったポーランドの地に住む人々と、膨大な数の証人にカメラが向けられています。その撮影期間は11年間。歴史を語る、そして歴史に刻まれるべき重要な一作です。また、ユダヤ人の武装蜂起計画や、ガス室での殺害を中止に追い込んだゾビブル収容所に焦点をあてた『ソビブル、1943年10月14日午後4時』や、アドルフ・アイヒマンが世界を欺くために選んだ“模範収容所”テレージョン・シュタットの真実を紐解く『不正義の果て』もホロコーストの悲劇をみつめ、その記憶を辿ります。これは歴史的映像記録遺産。

【ポーランド映画祭】

中央ヨーロッパに位置するポーランドは、ドイツやソ連の侵攻により国家が分割されたり、ワルシャワやアウシュビッツ・ビルケナウなどを始めとする戦争の悲劇を多く抱えた国。戦後ヨーロッパでは新しい芸術を模索する動きが活発化しフランスのヌーヴェルバーグはその隆盛を誇りますが、ポーランドでは、痛ましい歴史に向き合い、芸術的な側面から自由を求め映画製作に打ち込むポーランド派と呼ばれる作家たちが数多く活躍しました。そして時代は移り、次世代を担う若き才能あふれる作家たちもまた、多く輩出されています。

今回はポーランド派の名作から現在のフレッシュな才能まで幅広く10作品をセレクトいたしました。この機会にぜひポーランドの風に吹かれてみてください。



SHOAH ショア 不正義の果て 結晶の構造 愛する イーダ 劇場版ムーミン谷の彗星 夢は牛のお医者さん リルウの冒険 あなたがいてこそ 緑はるかに

上映日 【クロード・ランズマン監督特集】

- 3/27 SHOAH ショア 第1部 ●1985年 2h34 フランス 監督:クロード・ランズマン 出演:ヤン・カルスキ
3/27 SHOAH ショア 第2部 ●1985年 2h00 フランス 監督:クロード・ランズマン 出演:ヤン・カルスキ
3/28 SHOAH ショア 第3部 ●1985年 2h26 フランス 監督:クロード・ランズマン 出演:ヤン・カルスキ
3/28 SHOAH ショア 第4部 ●1985年 2h27 フランス 監督:クロード・ランズマン 出演:ヤン・カルスキ
3/28-29 ソビブル、1943年10月14日午後4時 ●2001年 1h38 フランス 監督:クロード・ランズマン
3/27-29 不正義の果て ●2013年 3h38 フランス=オーストリア 監督:クロード・ランズマン

上映日 【ポーランド映画祭】

- 4/1 結晶の構造 ●1969年 1h18 ポーランド 監督:クシシュトフ・ザヌシ 出演:アンジェイ・ジャルネツキ
3/29 罪物語 ●1979年 2h00 ポーランド 監督:ヴァレリアン・ボロフチュク 出演:グラジーナ・ドウゴウェンツカ
4/1 沈黙 ●1963年 1h42 ポーランド 監督:カジミェシュ・クツツ
3/31 夜の第三部分 ●1971年 1h45 ポーランド 監督:アンジェイ・ズラウスキ 出演:マウゴジャータ・ブラウネック
3/30-4/1 コルチャック先生 ●1990年 1h58 ポーランド=西ドイツ=フランス 監督:アンジェイ・ワイダ 出演:ポイエフ・プシヨニャック
3/30 縛り首の縄 ●1957年 1h36 ポーランド 監督:ヴォイチェフ・イエジー・ハス 出演:グスタフ・ホルバク
3/31 愛する ●2012年 1h45 ポーランド 監督:スワヴォミル・ファビツキ
3/30 裏面 ●2009年 1h39 ポーランド 監督:ボリス・ランコシュ
3/29 借金 ●1999年 1h43 ポーランド 監督:クシシュトフ・クラウゼ
3/31-4/1 イーダ ●2013年 1h20 ポーランド=デンマーク 監督:パヴェウ・パヴリコフスキ 出演:アダム・シュズコウスキ

【キッズ・ファンタジア】

家族みんなで楽しんでもらいたいという、視点から選んだ4作品。『劇場版ムーミン谷の彗星 パペット・アニメーション』は、1978年から82年にポーランドで制作・放送されたシリーズを、カラー修正・再編集したもの。時代を超えて語り継がれる納得の名作です。『茜色クラリネット』は札幌で行われている中学生の映画制作ワークショップに端を発し、中高生が主体となって作った映画。夢の中に入れる本を手に入れた中学生たちが、町で起こる不可思議な現象解明に挑む物語。初々しい輝きに満ちた一作です。『夢は牛のお医者さん』は小学3年生の時に出会った牛との出会いをきっかけに獣医になることを決意した女の子の成長を、26年間追いつけたドキュメンタリー。夢を持つことが、人を強くする、その姿に胸を打たれます。『リルウの冒険』は小学5年生のリルウが、夢を見られなくなってしまった友達・こころの夢を取り戻そうと奮闘する冒険ファンタジー。共感して楽しめる彩り豊かな作品たちをお楽しみください。

【インド映画祭】

年間映画製作本数も、映画公開本数も世界一多い映画大国・インド。国土が広いだけにエリアによって言語も違えば映画のスタイルも違います。奥深いインド映画にこれからも目が離せません。

【蘇ったフィルムたち～東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集】

主催：高崎映画祭／東京国立近代美術館フィルムセンター／一般社団法人コミュニティシネマセンター 協力：株式会社フォーライフミュージックエンタテイメント(「幸福」)

映画はデジタル化の時代を迎えましたが、フィルム上映の環境を維持する活動も行われています。フィルムセンターで現在試みられているのが、歴史的なカラー方式の復元やデジタル技術を活用したフィルムの復元です。

この企画は、フィルムの上映環境を確保するための「Fシネマプロジェクト」の一環として、コミュニティシネマセンターの会員館を中心に全国で実施するものです。言わずと知れた不朽の名作の数々を35ミリフィルムでご鑑賞ください。4日(土)には、フィルムセンター主任研究員・とちぎあきら氏によるレクチャーもごさいます。

上映日 【キッズ・ファンタジア】

- 3/29 劇場版ムーミン谷の彗星 パペット・アニメーション ●2010年 1h15 フィンランド=ポーランド=オーストリア 監督:マリア・リンドバーク
3/29 茜色クラリネット ●2013年 1h21 日本 監督:坂本優乃 出演:佐藤楓子
3/29 リルウの冒険 ●2012年 1h57 日本 監督:熊坂出 出演:ジャバチ瑠璃
3/29 夢は牛のお医者さん ●2014年 1h26 日本 監督:時田美昭 出演:丸山知美

上映日 【インド映画祭】

- 3/28 あなたがいてこそ ●2010年 2h10 インド 監督:S.S.ラージャマウリ 出演:スニール/サローニ
3/28 移動映画館 ●2013年 1h47 インド 監督:ガジェンドラ・アヒレ 出演:スポドゥ・バブ/キョレ/カダム
3/28 愛するがゆえに ●2013年 2h12 インド 監督:モヒト・スリ 出演:アディティヤ・ロイ/カプール/シュラッダ・カプール

上映日 【蘇ったフィルムたち～東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集】

- 4/3 地獄門+短編(4分) ●1953年 1h29 日本 監督:衣笠貞之助 出演:長谷川一夫/京マチ子
4/3 新・平家物語 ●1955年 1h47 日本 監督:溝口健二 出演:市川雷蔵
4/3 緑はるかに+短編(14分) ●1955年 1h30 日本 監督:井上梅次 出演:浅丘リ子
4/4 お早よう+短編(10分) ●1959年 1h34 日本 監督:小津安二郎 出演:佐田啓二
4/4 秋日和 ●1960年 2h09 日本 監督:小津安二郎 出演:原節子
4/4 幸福 ●1981年 1h45 日本 監督:市川崑 出演:水谷豊